

学 会 録 事

1. 日本藻類学会第42回大会(高知)報告

(1) 日本藻類学会第42回大会(仙台)

上記大会を2018年3月23日(金)～26日(月)東北大学青葉山新キャンパスにて開催した。

大会1日目は、午後に編集委員会、評議員会を行った。2日目は、口頭発表(2会場)、ポスター発表(奇数番号)、総会、懇親会を行った。3日目は、口頭発表(2会場)、ポスター発表(偶数番号)、公開シンポジウム「沿岸域のモニタリング—藻場の過去・現在・未来」、ミニシンポジウム「海藻と動物～忘れちゃいけないその関係～」を行った。

また、3月26日(月)には、ワークショップI「藻類採集会」およびII「乾しノリ生産加工施設の見学会と女川視察」を行った。

(2) 編集委員会・評議員会

大会1日目(3月23日)15:00より東北大学青葉山新キャンパス青葉山コモンズ2階第7講義室にて、英文誌および和文誌の合同編集委員会を行った。

英文誌については、小亀一弘英文誌編集長から「Phycological Research」の2017年度および2018年度の編集状況および年間投稿状況に関する報告があった。2017年度については65巻が総頁数340頁、掲載論文数38編であったこと、2018年度については66巻1号に11編が掲載され、2号に8編の掲載予定で、3号以降の受理論文数は3月1日現在9編であることが報告された。編集にかかった日数、投稿者の国名、2016年までのインパクトファクターの推移等が報告された。副編集長に2名の新任と2名の退任があったことが報告された。英文誌編集費については、契約ページの超過分(1頁)の代金支払(17,000円)があったが、これは2018年度の支払になると説明があった。次に、ワイリー・パブリッシング・ジャパン社の荒生氏から2017年度の出版状況・成果等をまとめた年次報告書についての説明があった。審議事項として、「その号に掲載された命名法上の新提案のリストを掲載し、Onlineでは、そのリストを無料で見ることができるようになること」が提案され、承認された。

和文誌については須田彰一郎編集委員長より「藻類」の2017年度および2018年度の編集状況に関する報告があった。2017年度については65巻に3編の原著論文のほか、藻類最前線・特集:研究奨励賞受賞記念、論文賞受賞記念に加え、大会時のワークショップの説明を新たに加える等の報文22編、大会プログラムと同講演要旨、企画記事、学会録事等が掲載され、総頁数は184頁であったとの報告があった。2018年度については66巻の刊行計画と編集方針の説明があった。和文誌「藻類」の論文賞は、投稿・掲載論文の少なさから引き続き見送ることになった。次期編集委員について徐々に新たなメンバーに引き継ぐ形を取る方針が了承された。また、「藻

類」の封筒の宛名が編集長から庶務に変更となった。

評議員会は編集委員会終了後、同会場にて16:30より行われた。2018年度総会に提出する報告事項・審議事項などに関して審議が行われた。内容に関しては総会の項を参照されたい。

(3) 2017年度総会

大会2日目(3月24日)16:30より青葉山コモンズ2階にて、総会を行った。奥田一雄学会会長、吾妻行雄大会会長の挨拶の後、川井浩史会員(神戸大学)を議長に選出し、議事に入った。

【報告事項】

・庶務関係

(1) 会員状況(2018年2月28日現在): 名誉会員3名、普通会員1,003名(国内・一般600名, 国内・学生221名, 外国182名), 団体会員42名, 賛助会員8名, 「藻類」国内定期購読17件(2018年6月1日現在)。

(2) 2017年度事業報告: 1) 日本藻類学会第41回大会・評議員会・総会の開催(高知大学朝倉キャンパス, 2017年3月23日～25日), 2) 日本藻類学会第41回高知大会企画 公開シンポジウム「高知・四国の藻類」の開催(高知大学 共通教育棟2号館212室, 3月25日), 3) 同 エクスカーション(海藻の磯採集)の開催(高知大学総合研究センター海洋生物研究教育施設, 2017年3月26日), 4) 藻類学ワークショップの開催「原生生物学会出張ワークショップ: 原生生物学会的藻類学研究的紹介」(高知大学 共通教育棟2号館221室, 3月23日), 「クロレラと気生藻の魅力-採集・観察から分類・バイオマス生産」(講義編3月25日, 高知大学 共通教育棟2号館221室, 実習編3月26日, 高知大学 理学部1号館126室), 6) 和文誌「藻類」65巻1号～3号の発行(3, 7, 11月発行), 6) 英文誌「Phycological Research」65巻1～4号の発行(1, 4, 7, 10月発行), 7) 持ち回り評議員会の実施(3回), 8) Algaebaseのスポンサーとしてのサポート, 9) 日本藻類学会特別賞・岡村賞の授与(2017年3月授与)と募集, 選考(2018年3月授与), 10) 日本藻類学会学術賞・山田賞の授与(2017年3月授与)と募集, 選考(2018年3月授与), 11) 第13回日本藻類学会研究奨励賞の選考, 授与と第14回日本藻類学会研究奨励賞の募集, 12) 第20回日本藻類学会論文賞の授与と第21回日本藻類学会論文賞の選考, 13) 和文誌「藻類」の転載許可状況(1件), 14) 自然史学会連合の事業に参加 2017年度自然史学会連合総会 開催(詳細については「藻類」66巻1号に掲載), 15) 日本分類学会連合の事業に参加 第17回総会およびシンポジウム 開催(詳細については「藻類」66巻1号に掲載) 16) 水産・海洋科学研究連絡協議会の事業に参加 平成29年度第1回協議会 開催, 平成29年度第2回協議会 開催(詳細については「藻類」66巻1号に掲載), 17) 和文誌「藻

表1. 2017年度一般会計決算(2017.1.1-2017.12.31)

収入(円)			支出(円)		
会費		5,086,000	和文誌経費		1,625,405
普通(国内・一般)	3,422,200		英文誌経費		4,065,000
普通(国内・学生)	420,000		編集費		40,000
外国会員	239,000		和文誌編集補助費	40,000	
団体会員	705,000		英文誌編集補助費	0	
賛助会員	300,000		庶務費		305,015
和文誌関係収入		427,500	事務用品費	26,027	
定期購読	103,500		会議費	26,300	
バックナンバー	9,000		通信印刷費	230,538	
別刷・超過頁代	195,000		諸雑費	22,150	
広告代	120,000		幹事旅費補助		0
著作権許諾料金	0		大会補助費		120,000
英文誌関係収入		1,059,805	自然史学会連合分担金		20,000
定期購読	0		分類学会連合分担金		10,000
掲載料・超過頁代	387,500		レンタルサーバー代		6,994
版權還付金	672,305		AlgaeBaseへの寄付		100,000
受取利息		44	派遣旅費補助		24,280
小計		6,573,349	小計		6,316,694
前年度繰越金		13,545,593	次年度繰越金		13,802,248
合計		20,118,942	合計		20,118,942

表2. 2017年度山田幸男博士記念事業特別基金会計決算(2017.1.1-2017.12.31)

収入(円)	支出(円)
前年度繰越金	2,427,977
受取利息	3
	各費用雑費 30,366
	記念品費 60,000
	次年度繰越金 2,337,614
合計	2,427,980

表3. 2017年度研究奨励賞事業特別基金会計決算(2017.1.1-2017.12.31)

収入(円)	支出(円)
前年度繰越金	2,342,549
受取利息	3
	奨励賞賞金 200,000
	次年度繰越金 2,142,552
合計	2,342,552

会計監査報告書

日本藻類学会の2017年度(2017年1月1日～2017年12月31日)の会計監査にあたり、収入・支出に伴う関係書類及び関係帳簿等を慎重に審査した結果、いずれも正確かつ適正に処理されていることを認めましたので、ここに報告いたします。

2018年3月16日 会計幹事 平岡 雅規 印

2018年3月14日 会計幹事 鈴木 雅大 印

類」バックナンバーの学会HPへの掲載状況(第63巻第3号まで閲覧・ダウンロード可能(2018年3月現在)), 18) 学会HPによる情報配信と記載内容の更新(掲載:大会案内, 学会・シンポジウム等のお知らせ11件, 研究助成の募集3件, 諸賞の募集3件, 教員・研究員の公募3件, その他のお知らせ2件; 更新: 学会役員・研究奨励賞・論文賞等の学会資料集, 大会案内など), 19) 同報メールによる情報配信 登録数: 268件(2018年3月現在), 2017年度配信数: 17回(主な内容: 集会・シンポジウム等のお知らせ12件, 教員・研究員の公募1件, 諸賞の募集1件, 研究助成の募集1件, アンケート依頼1件, その他1件), 20) 第18回マリンバイオテクノロジー学会大会の協賛(東北大学青葉山新キャンパス, 2017年6月3日～4日)。

・会計関係

(1) 2018年2月28日現在の2017年度会費納入率(雑誌

発送会員を対象)は、普通会員(国内・一般)98%, 普通会員(国内・学生)108%, 普通会員(外国)86%, 賛助会員88%, 団体会員75%であった。

(2) 2017年度一般会計決算等, その他の事項に関しては審議事項を参照されたい。

・編集関係

(1) 2017年度に発行した英文誌「Phycological Research」65巻1～4号は, 総頁数340頁, 掲載論文数38編であった。

(2) 2017年度に発行した和文誌「藻類」65巻1～3号は, 総頁数184頁、内訳: 原著論文3報、藻類最前線4報、その他の報文18報、日本藻類学会第41回大会プログラム、学会録事、その他(藻の見遊山2報、博物館と藻類2報など)であった。

これらに関連した詳細については, 前述の編集委員会・評議員会の項を参照されたい。

【審議事項】

・会計関係

(1) 2017年度一般会計決算報告および同監査報告（会計監事：平岡 雅規氏，鈴木 雅大氏）は表1のとおり承認された。

(2) 2017年度山田幸男博士記念事業基金特別会計の決算報告および同監査報告は表2のとおり承認された。

(3) 2017年度研究奨励賞事業基金特別会計の決算報告および同監査報告は表3のとおり承認された。

(4) 2018年度一般会計，山田幸男博士記念事業基金特別会計，および研究奨励賞事業基金特別会計の予算は表4，表5および表6のとおり承認された。

表4. 2018年度一般会計決算（2018.1.1-2018.12.31）

収 入 (円)			支 出 (円)		
会 費		5,601,100	和文誌経費		1,600,000
普通 (国内・一般)	3,908,000		英文誌経費		6,775,000
普通 (国内・学生)	370,500		編集費		300,000
外国会員	292,600		英文誌編集補助費	200,000	
団体会員	820,000		和文誌編集補助費	100,000	
賛助会員	210,000		庶務費		447,000
和文誌関係収入		392,750	事務用品費	30,000	
定期購読	103,500		会議費	60,000	
バックナンバー	8,250		通信印刷費	350,000	
別刷・超過頁代	160,000		諸雑費	7,000	
広告代	120,000		幹事旅費補助		80,000
著作権許諾料金	1,000		大会補助費		120,000
英文誌関係収入		2,507,914	自然史学会連合分担金		20,000
超過頁代	600,000		分類学会連合分担金		10,000
版權還付金 (収入の20%)	1,907,914		レンタルサーバー代		7,000
受取利息		100	AlgaeBaseへの寄付		50,000
			派遣旅費補助		50,000
小 計		8,501,864	小 計		9,459,000
前年度繰越金		13,802,248	次年度繰越金		12,845,112
合 計		22,304,112	合 計		22,304,112

表5. 2018年度山田幸男博士記念事業特別基金会計決算（2018.1.1-2018.12.31）

収 入 (円)	支 出 (円)
受取利息	30
	各賞用雑費 35,000
	記念品費 75,000
前年度繰越金	2,337,614
次年度繰越金	2,227,644
合計	2,337,644

表6. 2018年度研究奨励賞事業特別基金会計決算（2018.1.1-2018.12.31）

収 入 (円)	支 出 (円)
受取利息	30
	奨励賞賞金 100,000
前年度繰越金	2,142,552
次年度繰越金	2,042,582
合計	2,142,582

・庶務関係

(1) 2018年度事業計画として以下の事項が承認された：1) 日本藻類学会第42回大会・評議員会・総会（東北大学青葉山新キャンパス，2018年3月23日～25日）の開催，2) 和文誌「藻類」66巻1～3号の発行（3，7，11月発行），3) 英文誌「Phycological Research」66巻1～4号の発行（1，4，7，10月発行），4) 日本藻類学会会長選挙および評議員選挙の実施（6-8月）(1) 会長候補者推薦選挙 6月 (2) 会長・評議員選挙投票 7月～8月，5) 日本藻類学会編「藻類事典」（仮称）の出版準備，6) 藻類和名の整理に向けた「藻類和名のワーキンググループ」の活動，7) 日本藻類学会特別賞・岡村賞の授与（2018年3月），募集と選考（2019年3月授与），8) 日本藻類学会学術賞・山田賞の授与（2018年3月），

募集と選考（2019年3月授与），9) 第14回日本藻類学会研究奨励賞の選考，授与（2018年3月）と第15回日本藻類学会研究奨励賞の募集（2019年3月授与），10) 第21回日本藻類学会論文賞の授与（2018年3月）と第22回日本藻類学会論文賞の選考（2019年3月授与），11) 自然史学会連合の事業に参加，12) 日本分類学会連合の事業に参加，13) 水産・海洋科学研究連絡協議会の事業に参加，14) イベントの協賛特別公開講演会『宇宙と生命』（2018年3月21日，甲南大学 甲友会館），医学生物学電子顕微鏡技術学会 第34回学術講演会および総会（2018年5月17～18日，衆議院第一議員会館内「国際会議室」），第20回マリンバイオテクノロジー学会大会（2018年5月26日～5月27日，フェニックス・シーガイア・リゾート，宮崎市），15) 和文誌「藻類」パッ

クナンバーの学会 HP 上への掲載, 16) 学会 HP による情報配信, 17) 学会連絡メールによる情報配信。

・その他

日本藻類学会第 43 回大会 (2019 年 3 月 15 日 (金) ~ 17 日 (日)) の開催地を京都大学吉田南キャンパスとすることが承認された。

【日本藻類学会特別賞・岡村賞の授与】

日本藻類学会会則第 3 条第 4 号と日本藻類学会学会賞選考規程に基づき, 日本藻類学会特別賞・岡村賞の発表と授与が行われた。今回は右田 清治氏が選ばれ, 賞状および記念品が授与された。

【日本藻類学会学術賞・山田賞の授与】

日本藻類学会会則第 3 条第 4 号と日本藻類学会学会賞選考規程に基づき, 日本藻類学会学術賞・山田賞の発表と授与が行われた。今回は渡邊 信氏が選ばれ, 賞状および記念品が授与された。

【日本藻類学会研究奨励賞の授与】

日本藻類学会会則第 3 条第 4 号と日本藻類学会学会賞選考規程に基づき, 第 14 回日本藻類学会研究奨励賞の発表と授与が行われた。今回は高橋 和也 氏 (東京大学アジア生物資源環境研究センター, 渦鞭毛藻 *Woloszynskia* 類の系統分類) が選ばれ, それぞれ賞状および副賞 (賞金 10 万円) が授与された。

【日本藻類学会論文賞の授与】

第 21 回日本藻類学会論文賞の発表および授与が行われた。これは 2017 年に発行された英文誌「Phycological Research」65 巻 1 ~ 4 号の中から, 規定に従い審査員の投票によって選ばれ, 合同編集委員会および評議員会で了承されたものである。今回は下記の論文が選ばれ, 論文の著者に賞状および記念品が授与された。

Yoshihiko Sakanishi, Hiromi Kasai and Jiro Tanaka
Trade-off relationship between productivity and thallus toughness in Laminariales (Phaeophyceae)
Phycological Research
Volume 65, Issue 2, pages 103–110

2. 和文誌「藻類」バックナンバーの学会 HP への掲載状況

2018 年 6 月 18 日現在, 64 巻 1 号までの PDF ファイルを閲覧・ダウンロードできる状況。なお, 64 巻 1 号 ~ 55 巻 3 号の PDF ファイルは記事ごとのダウンロードが可能。

3. 学会 HP による情報配信と記載内容の更新

2018 年 4 月 ~ 6 月に掲載・更新した内容は, 学会資料集 (特別賞, 学術賞, 研究奨励賞, 論文賞, 大会記録・公開シンポジウム・講習会・採集会), 「藻類」第 64 巻 1 号の論文 PDF ファイル, 第 66 巻 1 号の目次, およびお知らせ数件 (学術集会・研究助成など) など。

会 員 異 動

新入会

機関名または氏名

所属機関または自宅住所